

## 航空機事故消火救難総合訓練に参加

平成 30 年 10 月 18 日 (木)  
成田国際空港において、航空機事故が発生したことを想定し、空港内外の関係機関が一体となった、各種緊急活動の総合的な手順の習熟を図ることを目的とした総合訓練が、1200 名の参加により行われ、高橋会長をはじめとする本会会員 14 名が三郡医師会・DMAT・



歯科医師会・薬剤師会・看護協会とともに応急救護員として参加しました。

事故概要は、13 時 45 分 X Y Z 航空 000 便 (形式: ブラインド) は、A 滑走路 34L への着陸時突然 NO.1 エンジンが爆発炎上、着陸に失敗。A 滑走路 A-5 付近 (グリッドマップ 17-0) で停止したが、漏洩した燃料に引火し、機体に延焼した。

当該機は、脱出スライドが展開され、乗員乗客は速やかに脱出を開始しているが、機内には多数の負傷者がいる模様。

今回の事故想定機の型式、模擬搭乗者数及び傷病者数についてはブラインドにて実施されました。



本会会員は医療関係者と協力し、消防・警察等により事故機から救助・搬送後、トリアージされ、処置テントに送られてきた負傷者に対し、日常業務を生かし適切に処置を行っていました。

(広報員 渡辺勇)

